



西会津小だより

4月号

No.13

【教育目標】

心身ともにたくましく、
未来を生き抜く児童
令和3年 4月 6(火)
文責：校長 博多弘泰

学校運営の重点実践事項

県内でも、新型コロナウイルス感染の再拡大が非常に懸念される状況となり、令和3年度も先行きの見えない不安の中、新1年生32名を迎え児童数192名で学校教育活動がスタートしました。今年度も、教職員一同力を合わせ、子ども中心の教育の推進(①子どもの可能性を信じる ②子どもを第一に考えた教育活動を行う ③子どもの主体性を伸ばす)に全力で取り組んで参ります。

令和3年度は、昨年度の学校評価結果や実態等を踏まえ、教育目標を「心身ともにたくましく、未来を生き抜く児童」に変更するとともに、実践事項の7点に変更を加えました。特に教育目標は、目指すものでなく、達成するものであるという認識に立って、学校を運営していきたいと考えます。

〔変更した実践事項〕

知	学び確かに	①基礎的読解力を高める授業づくり ②ICT(タブレット学習)を活用した授業の充実
徳	こころ豊かに	⑦目標を具体的にもたせる工夫と成功体験への支援 ⑧コミュニケーション活動の重視・主体的な活動の推進を図る特別活動の充実
体	からだ健やか	⑪1単位時間の運動量の確保に重点をおいた体育科の授業の充実 ⑭自分と大切な人を守る危険予測能力・危険回避能力の育成
地	地域とともに	⑮隣接するこども園、中学校との積極的な保・小・中連携の推進



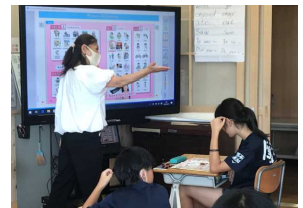
自主性と主体性

自主性とは、「他人の保護や干渉を受けず、自分の判断で行動すること」で、やる気や行動力とも言え換えられます。一方、主体性とは、「自分の意志や判断によって、自ら責任を持って行動すること」です。自主性と主体性は似ていますが、主体性には、「自分で考える」という思考があります。本校では、平成29年度から2年間、青少年赤十字の研究推進校の指定を受け、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げ、実践化を図ってきました。その実践は、今でも受け継がれ、特に、特別活動での話し合い活動や総合的な学習の時間でのまとめ・表現において、子どもの主体性が伸びてきています。今後、他の教科での学びや家庭学習でも伸びるようにしていきたいと思ひます。

教科担任制

2022年度より「小学校高学年からの教科担任制」導入の指針が文科省から示されました。

教科担任制とは、一人の教員が特定の科目を担当し、複数の学年(学級)で指導する中学校のような仕組みです。これまで理科や音楽で教科担任制を取り入れてきましたが、今年度から外国語でも教科担任制を導入します。そのため、高学年(週29時間の授業)では週約6～7時間を教科別の教員が授業を行い、残りを担任が受け持ちます。教科担任制をとることで、クラスに3名の教員が入り、これまで以上に子どもたちを多面的に見ることや、系統性のある指導、中学進学時を見据え中学校での指導スタイルに慣れる等のメリットがあります。



4月の行事予定

6日(火)着任式・始業式・入学式	21日(水)ふくしま学力調査(4～6年)
7日(水)地区児童会 下校指導のため短縮5校時	NRT学力調査(2・3年)
8日(木)耳鼻科検診	22日(木)地域訪問のため短縮5校時
12日(月)発育測定(中学年)	1年生を迎える会
13日(火)交通教室	23日(金)地域訪問のため短縮5校時
14日(水)発育測定(高学年、さゆり1・2)	26日(月)地域訪問のため短縮5校時
15日(木)職員研修のため短縮5校時	27日(火)地域訪問のため短縮5校時
16日(金)発育測定(低学年)	28日(水)歯科検診(下学年)
17日(土)授業参観 保護者懇談会	30日(金)歯科検診(上学年、さゆり1・2)

転入教職員紹介

- ・教頭 若林 勉(磐梯一小より)
- ・教諭 渡部雅人(川内小より)
- ・教諭 岩澤美咲(小浜小より)
- ・教諭 長島智佳(埼玉県本町小より)
- ・教諭 長島ひかり(渡辺小より)
- ・講師 小澤秀太(北会津中より)
- ・講師 佐藤亜紀(昨年度支援員)
- ・町医 土田菜央